

全医・病会議発第51号
令和2年4月30日

公益社団法人
医療系大学間共用試験実施評価機構
理事長 栗原 敏 様

一般社団法人
全国医学部長病院長会議
会 長 山下 英俊



同 共用試験検討委員会
委員長 齊藤 延人



今年度からの診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験の正式実施の延期について

今年度より診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC OSCE）が正式実施の予定となっていたところですが、COVID-19 感染症のアウトブレイクと、それに対する緊急事態宣言の影響で、ほとんどの大学では新年度から対面での講義や実習を行う事ができなくなっている状況です。また、既に模擬患者の団体から今年はSPの派遣ができないという連絡が来ている大学もあるようです。

COVID-19の終息の目処が立っていない現状において、既に当初予定していたレベルでのPost-CC OSCEの正式実施は困難であるばかりでなく、人の密集に制限をかけるべき状況が長引くようであれば、Post-CC OSCEの実施そのものが危うくなっていると判断せざるを得ません。

令和2年3月31日づけで、貴機構より「医療系大学間共用試験実施評価機構における「新型コロナ ウイルス感染症対応の危機管理方針」(第1報)について」をいただいているところではありますが、現状を勘案した上で全国医学部長病院長会議としては、今年度予定されていたPost-CC OSCEの正式実施を来年度以降に延期することを要望いたします。また、今年度については、各大学の事情や地域の状況により、実施するかどうかも含めて、柔軟な対応を認めていただきますよう希望します。よろしくご高配をお願い申し上げます。